

想

特集 院内イベント紹介

大腸がん治療 最近の話題 ~化学療法の進歩~

—外科 医師 堀岡 宏平—

新任ドクター紹介

「医療被ばく相談窓口」の開設

旬の味だより

~豆腐のフレッシュトマトソースかけ~

JR九州病院 広報誌「そう」第19号



題名：元気いっぱい
撮影：堤 久子 (NTTパソコンセミナーOBデジカメクラブ)
撮影場所：近所の店先
撮影者コメント：青空に届けとばかり咲き誇るハイビスカス
赤い花に元気を貰いました。

11' 夏

JR九州病院



1. はじめに

近年、日本において大腸がんは罹患率、死亡率ともに増加傾向にあります。罹患率は30年前と比べて男性で4倍、女性で3倍に増加し、2006年の癌種別の死亡者数は男性4位、女性1位であり、今後も増えていくことが予想されます。

ステージ0, Iの早期がんの場合、5年生存率は95%以上であり、早期発見、早期治療が重要であることは言うまでもありません。早期がんであれば、内視鏡的な切除や外科的切除によって治癒が望めます。一方で、診断時にかなり進行した状態でみつかると、手術による切除が不可能だったり、他の臓器に転移していることも少なくありません。また、術後にがんが再発・転移することもあります。このような場合、抗がん剤による化学療法が治療の中心になります。

2. 化学療法について

大腸がんをはじめ消化器のがんの化学療法は、最近では腫瘍内科医によって行われるようになってきたものの、専門医は不足しており、主に私たち外科医が施行しているのが現状です。

大腸がんの化学療法はここ10年で大きな変化を遂げました。従来は5-FUに加え、イリノテカンやオキサリプラチンといった新しい抗がん剤が使用出来るようになりました。さらに、ベバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブといった分子標的治療薬が登場した事で世界標準の治療が可能となり、治療成績は飛躍的に向上しました。これまでは延命を目標にしていたケースでも化学療法と手術の併用により治癒を目指す事が可能になったのです。つまり、切除不能ながん、転移巣に対して化学療法を行って腫瘍を縮小させたのち、手術によって完全に病巣を切除することも可能になったのです。

3. 分子的治療薬

がんの増殖や転移に関わる分子をターゲットとし、細胞の増殖を抑えることを目的として開発されたのが分子標的治療薬です。大腸がんに対しては現在3種類の薬が使用可能です。その内、セツキシマブとパニツムマブの使用にあたってはKRAS遺伝子というがん化の初期段階に関与するとされる遺伝子のタイプを確認する事で治療効果を予測できるようになりました。これは患者さん一人一人に最適な治療方法を選択するという個別化治療(オーダーメイド治療)につながります。

4. おわりに

治療の選択が増えたことで、これらの薬剤をいかに使いこなすかが今後の課題です。どの薬剤の組み合わせが効果的か、また使用する順序はどうするのが良いのか、などについて各種臨床試験が進行中であり、その結果が待たれるところです。

院内イベント紹介

JR九州病院では、院内コンサートを季節毎に開き、患者さんやご家族の方に素敵な音色を提供してきました。とくに「J-JR(ジェイ・ジェイアール)」は地域のイベントや、「日経おとなのバンド大賞 九州予選」に出場するなど院外にも活動を広げています。

今後の院内コンサートとJ-JRの活動にご期待ください！



【スプリングコンサート】



【サマーコンサート】



【院内クリスマス会】



「医療被ばく相談窓口」の開設

JR九州病院では、「安全な医療」を実践するために、被ばく低減の推進を図り、放射線治療における医療被ばくへの正しい理解を得る必要があると考えています。2011年8月1日より「医療被ばく相談窓口」を開設し、患者さんへの説明は当院の診療放射線技師が担当します。なお相談は希望者のご都合に合わせて予約制にて行います。

相談時間 月～金(祝祭日を除く) 午後3時～午後5時

電話番号 093-381-5661 内線(1111) ※中央放射線室受付又はお電話での申し込みをお願いします。



新任ドクター紹介

3名のドクターが赴任しました。

内科 向井 亮 (むかい たもつ)



平成8年にJR九州病院に赴任し13年間当地にて診療にあたっております。平成21年10月から1年半程、大分赤十字病院にて勤務し、再び当院にて診療を行うこととなりました。あらためて地域医療に貢献出来るようにがんばりたいと考えております。

消化器内科 西川 正一郎 (にしかわ しょういちろう)



はじめまして、西川と申します。出身大学は、産業医科大学で専門は消化器代謝内科です。JR九州病院の勤務は、火曜日・金曜日の週2回で、上下内視鏡検査、外来診療を行っております。消化器内科は、食べ物の消化に関わる臓器である胃腸、肝臓、胆嚢、膵臓に関する病気が専門となります。患者さんに対してわかりやすい説明と丁寧な検査手技を心がけており、分からないことがありましたら、遠慮なくお申し付け下さい。

整形外科 屋良 卓郎 (やら たくろう)



宮崎県に生まれ、これまで鹿児島、沖縄、福岡、茨城、神奈川、広島、八幡西区と数々の土地を回り、今回門司に辿り着きました。患者さんに門司の地名など言われてもピンとこずご迷惑をおかけするとおもいますが、色々門司について教えて頂ければ幸いです。まずは一年間最大の努力をして安心して受けられる良質な医療を提供させて頂こうと思っておりますので宜しくお願い致します。

旬の味だより

この季節にピッタリのお料理をご紹介します♪

豆腐のフレッシュトマトソースかけ



【1人あたりのカロリー】
約220kcal

材料(2人分)

・トマト	中1個	・柚子胡椒(あれば)	少々
・玉葱	1/4個	・オリーブオイル	大さじ2杯
・しらす	大さじ1杯	・醤油	大さじ2
・醤油	小さじ1/2杯	・絹ごし豆腐	1/2丁
・胡椒	少々	・大葉	3枚

作り方

- ① 玉葱はみじん切りにします。トマトはへたをとり、皮を湯むきした後横切りにします。種を小さなスプーンなどで取り除き、みじん切りにします。
- ② 玉葱、トマト、しらすをボールに入れ、醤油・胡椒・柚子胡椒(あれば)を入れて味をなじませます。
- ③ 2にオリーブオイルを加えて全体がとろっとするまでよく混ぜます。その後冷蔵庫でよく冷やします。
- ④ 豆腐に3を乗せ、上から千切りにした大葉をのせて、出来あがりです。

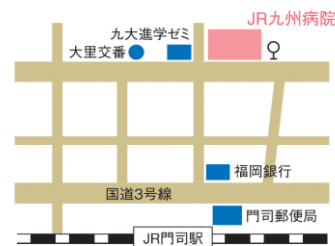
さっぱりしているので、食欲のないときにもお勧めです。

ぜひ、ためしてみてください。

JR九州病院 管理栄養士 佐伯 昌子



JR九州病院のご案内



〒800-0031 北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL (093) 381-5661

FAX (093) 381-1077

JR門司駅から徒歩10分/西鉄バス高田二丁目下車徒歩1分

JR九州病院 ホームページ

<http://www.jrkyushu-hospital.jp/>

JR九州病院

検索

【当院理念】

私たちJR九州病院は、
安全で良質な医療サービスの提供を通じて、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

【当院基本方針】

1. 患者さんの安全と、安心できる医療環境の整備に努め、医学的根拠に基づいた良質な医療の提供を行います。
2. 患者さん、ご家族への説明と同意とともに、患者さんの意思と権利を尊重した医療を行います。
3. 医療連携を通じ、地域に開かれた中核病院として、医療の充実に努めます。
4. 職員の相互理解とたゆまぬ研鑽を通じて、活気ある職場を目指します。
5. 医療資源の有効活用と健全な病院運営を行います。

編集後記

いよいよ夏本番といった日々がやってきました。
二十四節気で言うと、快晴が続き気温が上がり続ける
大暑の時期になり、暑中お見舞いの時期でもありますね。
暑さで体力も奪われがちなので、体調管理にはお気をつけ
ください。

(光田 祐子)

想 (そう) 夏号(通巻19号)
平成23年7月中旬発行(季刊)
発行人: 林田 一洋(JR九州病院 院長)

JR九州病院 広報委員会「つばめ」
副院長 亀井 隆史
事務長 藤井 秀一郎
看護部 藤井 美司恵 上堀内 亮子 光田 祐子
薬剤科 白江 泰代
中央放射線室 石井 佳人
リハビリテーション室 大島 瑛美子
中央検査室 有吉 大悟
医療連携室 下田 清隆 藤木 泰治
総務課 吉田 利枝

編集・発行・印刷: JR九州病院
北九州市門司区高田2丁目1番1号
TEL 093-381-5661